

## 市 政 報 告

次に、最近の市政について報告いたします。

### ○ 白幡森周辺エリア整備・若者支援住宅の整備について

若者支援住宅整備事業の設計建設工事につきましては、6月定例会において契約議決をいただき、現在工事を進めております。

工事の進捗状況については、2月の臨時議会で説明したとおり、B棟基礎工事において、予見が困難な規模の転石が確認されたことから、契約金額の変更と施工工程の見直しを行い、工期を令和8年4月30日へと変更しております。

入居者募集及び入居開始時期について、A棟は現在募集を行っており、当初の計画どおり、令和8年4月から入居を開始いたします。

一方、B棟については、転石処理の影響により工程に遅れが生じたことから、3月より募集を開始し、入居開始時期を約1か月遅らせ、5月からの入居開始を予定して整備を進めております。

### ○ 移住・定住の促進に向けた取り組みについて

12月5日、移住リエゾンが主体となり、山形県遊佐町の移住者と本市の移住者、そして地域住民が交流するイベント「鳥海山麓ダヨ。全員集合」をにかほっつとで開催しました。

当日は、38人の参加があり、超神ネイガーのパフォーマンスや象潟九十九島太鼓の演奏で歓迎したほか、新米のおにぎりやだまこ汁を味わいながら、湧水をテーマにしたトークセッションや鳥海山にちなんだゲームを通じて交流を深めております。

また、にかほ市空き家情報バンクの1月末時点の状況は、新規登録26件、売買・賃貸成立8件、交渉中4件となっており、すでに昨年度の実績を上回っております。

今後も、移住リエゾンと連携した空き家相談会の開催や、空き家の適正管理

に向けた支援を進めることで、住まいの確保と定着支援につなげて参ります。

### ○ 仁賀保駅・金浦駅の乗車券類簡易発売契約の解除について

駅舎の利用者が年々減少している状況を踏まえ、駅のあり方について検討を重ねて参りました。その結果、令和8年3月のダイヤ改正に合わせ、3月13日をもって窓口での乗車券類の発売を終了することとしました。

今後の乗車券、定期券等の購入方法や電車の利用方法については、駅舎内への掲示や市ホームページなどにより周知を図っているほか、3月1日号の広報にも掲載する予定です。

引き続き、鉄道事業者と連携し、利用者の皆さまへの影響をできる限り軽減できるよう努めて参ります。

### ○ にかほ市廃棄物減量等推進審議会について

廃棄物の減量及び再生利用の促進等に関する事項を審議するため、第1回にかほ市廃棄物減量等推進審議会を1月26日に開催しました。今年度は1回、来年度は3回の開催を予定しており、ごみ袋の形状や、ごみ減量に効果的な施策について審議いただくこととしております。

### ○ 総合福祉交流センター長寿命化改修工事について

総合福祉交流センター「スマイル」では現在、長寿命化改修工事、こども家庭センター事務室等整備工事、照明LED化改修工事の3件を同時に進めております。

長寿命化改修工事の1月末現在の進捗状況は約30%で、計画通り順調に進んでおります。騒音でご迷惑をおかけしていた外壁タイルの剥ぎ取りはほぼ終了し、現在は塗装の仕上げを進めているところです。

館内の工事も順調に進んでおり、トイレの洋式化工事は完了し、一部の利用を開始しております。ご来館の際には、出入口の変更や利用制限などでご不便をおかけしておりますが、今後の利用状況や貸館に関する情報は、広報等でお知らせして参ります。

## ○ 金浦保健センターの集約について

令和8年度より、金浦保健センターの職員をスマイル内に集約し、こども家庭センターの3つの班が同一フロアで執務する体制となります。

これにより、母子保健業務と子育て支援業務の一体的な運営を図り、連携をさらに強化することで、市民の皆さまが様々な相談につながりやすい環境を整え、安心して出産・子育てができる支援体制の充実に努めて参ります。

なお、令和8年4月以降は、金浦保健センターに職員は常駐しませんが、乳幼児健診や各種教室等については、引き続き金浦保健センターを会場として実施する予定です。

## ○ 令和8年産米の「生産の目安」について

昨年12月に開催したにかほ市農業再生協議会において、令和8年産米の「生産の目安」を、前年より約60トン多い9,595トン、面積換算では約25ヘクタール多い1,725ヘクタールとすることを決定いたしました。

今後も、米価維持に向け、関係機関や団体と連携し、需要に応じた生産の推進に取り組んで参ります。

## ○ ハタハタ漁について

今季の県内におけるハタハタの漁獲量は、沖合・沿岸を合わせて約5.6トンとなり、禁漁明けの平成7年以降で最低だった昨年をさらに下回っております。

本市においても、沖合・沿岸合わせた漁獲量は1.7トンで、前年度比約6割減と大きく落ち込んでおります。

県では、漁場の変化ではなく、資源量の減少が主な要因であるとの見解を示しており、資源管理や操業のあり方について協議が必要であるとしています。本市としても、引き続き県の動向を注視し、適切な対応に努めて参ります。

## ○ ツキノワグマの出没について

令和7年4月1日から12月31日までの本市における目撃情報は166件、捕獲頭数は35頭となり、大量出没した令和5年度をさらに上回る、近年に例のない目撃件数となっております。

人の生活圏内での出没が相次いだことを受け、引き続き市民の皆さまへの迅速な情報発信に努めるとともに、出没抑制に向けた緩衝帯の整備や、クマ対策の一層の充実、強化を図って参ります。

## ○ 市内の経済状況について

昨年10月から12月の景況調査では、依頼した68社のうち58%にあたる40社から回答がありました。

全体としては前年同期と比較して「好転」13社、「横ばい」16社、「悪化」11社となっております。

飲食・宿泊・運輸・不動産業においては、前期比で「好転」1社、「横ばい」2社に対し、「悪化」が4社となり、D I値がマイナスとなっております。

一方、製造業では、前年同期比・前期比ともに17社中8社が「好転」、4社が「横ばい」と回答しており、D I値がプラスとなっています。今後の見通しについても、10社が「好転」、5社が「横ばい」と回答しており、堅調に推移している様子がうかがえます。

しかし、物価上昇に伴う原価等の高騰に加え、最低賃金の上昇による影響を懸念する声もあり、引き続き市内の経済動向を注視して参ります。

## ○ 市内の雇用状況について

ハローワーク本荘管内の有効求人倍率は、12月末現在で1.10倍となり、3か月連続で前年同月を下回っております。

有効求職者数は、前年同月比で9人(0.7%)の減少、企業側の有効求人数も、前年同月比で124人(8.0%)減少しています。

業種別の有効求人倍率は、事務従事者は0.53倍である一方、建設・採掘従事者は5.83倍、保安職業従事者は10.25倍となっており、職種によって大きな差がみられます。

また、秋田県労働局では、求人は求職を上回って推移しているものの、緩やかに減少していると発表しており、今後も地域の雇用状況について引き続き注視して参ります。

## ○ プレミアム商品券事業について

物価高騰の影響を受けている市民の消費を下支えするとともに、市内経済の活性化を目的としたプレミアム商品券事業を、紙による商品券と、本市では初となるスマートフォンを活用したデジタル版とのハイブリッド方式で実施しました。

商工会が販売したプレミアム率 20%の紙の「共通商品券」は、9月30日までに完売した2,700万円分のうち、99.4%に当たる2,686万3千円が市内で利用されました。

プレミアム率 30%の「モバイル商品券」は、発行数の99.1%に当たる43,620口が申し込まれ、11月4日から1月31日までに、商品券購入額の99.85%に当たる5,547万345円が市内で利用されました。

## ○ 藤本タツキ氏原作「ルックバック」について

1月17日・18日の2日間、市内商店等の有志で構成された「超にかほ作戦 遂行本部」の主催により、アニメ映画「ルックバック」の市民向け無料上映会が仁賀保勤労青少年ホームで開催され、延べ706人の来場がありました。

年内には、本市をメインロケ地とした実写映画「ルックバック」が公開されますので、各団体等と連携しながら、地域の盛り上がりにつながる取組みを支援して参ります。

## ○ 鶴泉荘について

先月、「鶴泉荘」の有償譲渡に向けた公募型プロポーザルを実施したところ、1件の応募があり、審査の結果、その事業者を選定いたしました。

事業内容は飲食を中心としつつ、登山者向けの宿泊も計画されております。まずは4月中旬に飲食施設をオープンし、その後、カフェ施設や宿泊施設を段階的にオープンしていく予定です。

## ○ スポーツ賞表彰について

2月14日、にかほ市スポーツ協会主催による「令和7年度にかほ市スポーツ賞」表彰式が、仁賀保勤労青少年ホームで開催され、功労賞、優秀指導者賞、栄光賞など、計39名と4団体が受賞されました。

また、世界大会に出場した本荘高校端艇部の小松煌（あき）さんと仙台大学フロアボール部の畑中海音（みお）さんが特別賞を受賞し、市スポーツ協会設立20周年の節目に、輝かしい成績で花を添えました。

#### ○ サッカーキャンプ受入れについて

デフサッカー（聴覚障がい者11人制サッカー）の男子日本代表候補合宿が、6月10日から16日までの期間、本市で実施されることが決定しました。

合宿期間中には、選手の卓越した技術を間近に感じられるとともに、障がい者への理解と共感を深める機会として、選手と子どもたちとの交流イベントも開催する予定です。

#### ○ 金浦B&G海洋センターについて

1月8日に建築及び外構工事が完成し、引き渡しを終え、3月28日のオープンに向けて準備を進めております。

また、市内の小学3年生から6年生を対象に施設の愛称を募集したところ、127人から応募があり、金浦小学校4年生の齊藤リアムさんが提案した「竹嶋潟カヌーパーク」に決定しました。

この愛称には「エスパークのように、みんなが集える施設になるように」との思いが込められており、多くの方々に親しまれる施設となるよう、今後も取り組んで参ります。